

——ログデータ活用技術とオフィス情報システム小特集（英文論文誌 D）論文募集——

ログデータ活用技術とオフィス情報システム小特集編集委員会

昨今、ビッグデータ時代や IoT（Internet of Things）時代と呼ばれているように、オフィスや私生活において多種多様なデータが取得できるようになりました。本小特集ではライフログなどのログデータを活用し生活を豊かにしていくことを目的に、ログデータ活用技術に関する論文を募集致します（2023年9月号掲載）。なお、ログデータ活用技術だけでなく、データ共有の仕組みやパーソナルデータのセキュリティ、プライバシーなどの周辺技術、オフィス情報システムへの応用などに関する論文を幅広く受け付けます。LOIS 研究会で発表頂いた研究はもちろんのこと、そうでない研究の論文も歓迎致しますので、奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

主に以下の分野を対象としますが、以下の分野に関連する論文も幅広く受け付けます。

- ・ライフログ（ライフログ活用技術、データ解析、アプリケーションなど）
- ・オフィスモデル（業務モデル、BPR、情報共有、XML、文書構造、文書処理、ワークフローなど）
- ・コミュニケーション・共同作業を支援する技術（電子メール、グループウェア、CMS、ブログ、SNS、仮想共有環境、仮想オフィスなど）
- ・データマイニング・オフィス内の情報抽出技術（顧客情報マイニング、ナレッジマネジメント、メールマイニング、人工知能応用など）
- ・システムアーキテクチャ（Web サービス、情報システムガイドライン、SOA、WebAPI、RSS、マッシュアップ、SLA など）
- ・ネットワーク（センサネットワーク、ユビキタスネットワーク、VPN、P2P など）
- ・セキュリティ（匿名化技術、ユーザプロファイルハンドリング、アクセス制御、マルウェア、スパム、著作権管理など）
- ・ヒューマンインタフェース（可視化、モバイルインタフェース、リッチインタフェース、Ajax など）
- ・その他オフィスアプリケーション（意思決定支援、学内情報システム、CTI、CRM、インターネット家電、IPTV など）

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文体（TeX/Word）、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-OF] Advanced Log Processing and Office Information Systems を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

Web による電子投稿の際、“Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, Notices from the IEICE, and Privacy Policy” に承諾して頂きます。

4. 論文投稿締切日 2022 年 11 月 8 日（火） 厳守

5. 問い合わせ先

古本啓祐（情報通信研究機構）

E-mail : k.furumoto@nict.go.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 谷本茂明（千葉工大）

副委員長 古本啓祐（NICT）、白石善明（神戸大）、廣友雅徳（佐賀大）

委員 荒井研一（長崎大）、大川真耶（NTT）、岡本 学（崇城大）、関 良明（東京都市大）、仲野有登（KDDI 総研）、福田洋治（近畿大）、山元規靖（福岡工大）

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含むすべての著者は、論文が採録となった場合、2023 年 5 月頃に掲載料をお支払い頂くことになりま

す。2023年6月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。

- * 投稿者に非会員が含まれている場合には、この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合、非会員掲載料が適用されます。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。入会の案内はこちらを御覧ください。

<https://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

- * オープン化：オープン化：2017年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌Dのすべての論文を、J-STAGEを通じて全世界の読者へ公開しています。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transinf>